



野公道風安幾帖

子 6
4143



門子6
號4143
卷

晴侯氏曰

每集破起乃...
有久以未得理安也
东理安留水...
以祿...持仁...
乃

大亦...
乃...
乃...
乃...
乃

あまのりあまのりあまのりあまのり
あまのりあまのりあまのりあまのり
あまのりあまのりあまのりあまのり
あまのりあまのりあまのりあまのり

あまのりあまのりあまのりあまのり
あまのりあまのりあまのりあまのり
あまのりあまのりあまのりあまのり
あまのりあまのりあまのりあまのり

あまのつとむるはくしんもくしん
玲尔之、私社、新社、老
志、流、海、舟、山、林、志、志、志、志、
いふ、ふ、ふ、ふ、ふ、ふ、ふ、ふ、
ふ、ふ、ふ、ふ、ふ、ふ、ふ、ふ、

うもれ、た、布、る、は、得、志、志、志、
年、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、
私、の、也、し、た、た、た、た、
尔、不、あ、た、一、し、し、し、し、

母に未もかきしるるを
志もわたりし手は川に流
せしむるに乃もてはるも
老ふ難くたのむ

ふきつらうへい安んじ
あつてはるもかきしる
見はるもかきしるも
見はるもかきしる

けきれあはれしこぞあはれ
あはれあはれあはれあはれ
乃也いふ所はれいふもあ
接きいふあはれあはれ

いふあはれあはれあはれ
いふあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれ

意之之之之之之之之之之之
毛安有子之雜亦美大亦
雜者平也一未教之之
母有之之之之之之之之之之

一未見雜山未之之之之之之
毛之之之之之之之之之之
理者之乃者之者之者之
不布社

かゝる方 出づる 事さる人 叔業
之の種 大なる 事なり 事なり
之 事なる 事なり 事なり
事なり 事なり 事なり

事なり 事なり 事なり
事なり 事なり 事なり
事なり 事なり 事なり
事なり 事なり 事なり

美出のたの 葉より花も
形教をけし 新志は年也
古志をけし 律一と如し
宛社

古志のたの 葉より花も
形教をけし 新志は年也
古志をけし 律一と如し
宛社

教の種人々也いふ地まか
勢はさういふ事宗家表
川あまの言あまの村さ
ふる人由

のそい難り、さしひぬ、さ
美なり、おたのい難、刀さ
ち、い、つ、ま、も、年、あ、あ、
り、さ、あ、い、は、り、

つひに難者未だおつた人あ
難くもみあふ久敷いそ
古来乃志きくあふ不世に
はるるりりあふ

いふ新あふ、也美也
美也也、あふ理りあ
理りあふ、あふ不世
不世あふ

和のつるは美を冠し
由年よりたすぬ社を
るもつる示於東
社ぬ家

係理携おきつる
はかろんりし源社

右二十二首脱文凡十六字衍文凡二字
未逸其半



帖之真本藏于府下清光僧院相傳
小野內藏頭道風之書雖無明徵而
筆法之妙高攀二王卓絕無倫竊
得蓋不謬也往歲吾社友長者就院
摹搨用心周密幾無毫差遂鐫以布
馬距今已三紀中間有故鏤版散逸

歎惜者久矣乃者家工虛舟請舊復
鈎再因不朽刻就而覽之精巧實有

加云

天明乙巳秋 大阪府中井積善識



